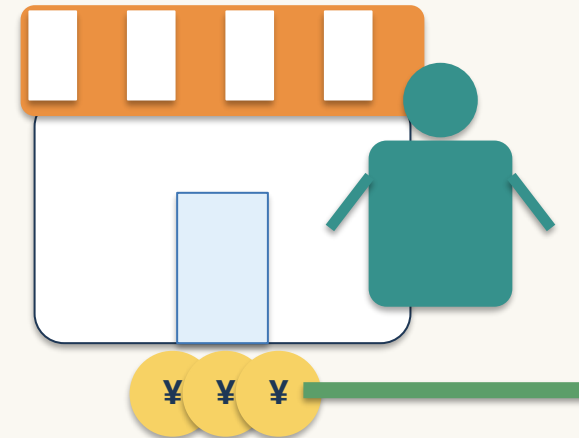


5分でわかる 高山市の景気動向

令和8年第 I 四半期（1月～3月期）分

令和8年4月中旬調査 / 高山西商工会



「いま、高山市の商売は
どうなってる？」

売上 → 景気 → 雇用 → 設備投資 の4点でサクッと整理

02 まず結論。高山市の景気は「売上↑、景気感↓」

1

① 売上

販売高DIは
+9.6ポイント

売上は前年同期より
「増加傾向」



2

② 景気感

自社の景気DI
▲5.9

先行きも
「下降見込み」



3

③ 人・投資

雇用は不足感が
弱まり
設備投資実施は
30.8%

ただし投資計画は
28.5%へ低下



ひとことで言うと：『足元の売上は持ち直したが、景気の先行きには慎重さがある』

売上はどう？ → 全体では改善



販売高DI

+9.6

ポイント

前年同期比で「増加した」割合は1.9pt減少。一方、「減少した」割合は11.5pt減少。

業種別の売上高DI（前年同期比）

建設・土木



-20.0

飲食



+23.1

製造



+16.1

旅館



+18.2

卸売・小売



-16.0

その他



+31.6

0 = 増減なし（DIの基準線）

＋は改善、▲は悪化

ポイント：飲食・製造・旅館・その他はプラス。一方、建設・土木、卸売・小売はマイナス。

景気の実感は？ → 「ちょっと慎重」

自社の景気動向DI

▲ 5.9

前回予想：▲3.0

実績は予想より悪化

さらに、来期の景気動向DIも
「下降見込み」。

どう読む？

1

売上

全体DIは+9.6

足元は改善

2

景気感

▲ 5.9

先行きは慎重

3

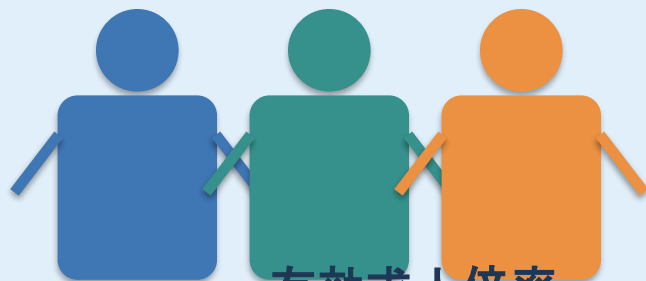
ギャップ

売上と景気感が一
致しない

『今は売れても、先は不安』

DI = 「良くなった企業の割合」 - 「悪くなった企業の割合」

人手は？ → 「不足感」は少し落ち着いた



有効求人倍率

1人の求職者に
何件の求人があるか

今期は「過剰感」も「不足感」も減少

過剰感 ▼0.7pt / 不足感 ▼2.8pt

来期の業種別予測

建設・土
木
適正企業の増加

飲食
過剰傾向

製造
不足傾向

旅館
過剰傾向

卸売・小
売
適正企業の増加

その他
不足傾向

ポイント：人手不足が全面的に強まっているわけではないが、製造・その他では不足傾向。

06 設備投資は？ → 「実施」は増えたが「計画」は減少



今期、設備投資をした

30.8%

前回比 +1.9ポイント

= 実際の投資は少し増加

向こう1年間の設備投資計画

28.5%

前回比 ▲4.8ポイント

『今は投資した。でも
これからの計画は慎重』

業種別では、製造業だけが前回予測を5.2%上回って投資。旅館業は11.6%下回るなど、ばらつきあり。

07 5分まとめ：高山市の景気を一言でいうと

「足元の売上は持ち直した。一方、景気の先行きには慎重さ。」

売上

+9.6

全体の販売高DIは改善

景気

▲5.9

来期も下降見込み

雇用

不足感↓

過剰感も不足感も減少

投資

30.8% / 28.5%

実施↑、計画↓

※本資料は添付の高山市「景気動向調査」を、一般の方にも読みやすいよう要約・図解したものです。